

道路・橋・河川・公園 の設計

安心・安全な地域の暮らしを設計で支えています

測量や調査で得られた多くのデータをもとに、道路や橋、河川などの設計図をパソコンの2次元(2D)や3次元(3D)の製図ソフトを使って作成します。現地をよく調べるため、ドローンを使うこともあります。将来にわたって安心・安全な地域とするための設計やデザインを行っています。これらの設計図面を使って、建設会社により、実際に工事が行われます。



入社2年目
田辺さん

この仕事に就いたきっかけ

高校生のときに、進路に悩んでいたところ、先生から「土木を学んでみてはどうか」と提案されて、土木工学の道を選択しました。大学で学んでいく中で、この分野のおもしろさや魅力に気づき、そのまま仕事にしようと思いました。

こんな人に向いています

- いろいろな物事への好奇心がある
- 探求心がある
- 数字や図面のデータを扱うのが得意
- 人とのコミュニケーションが好き
- 地域のために働きたい

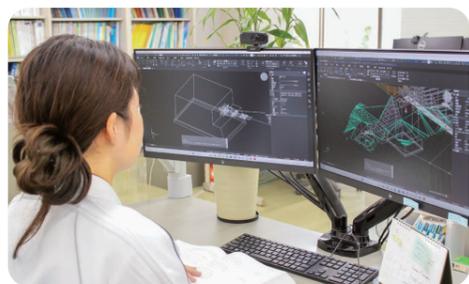
この仕事の魅力

設計は、測量・調査があって初めて成り立つ仕事です。時には社内のさまざまな技術者に意見を聞いたりします。いろいろな人の意見や案を織り交ぜながら、ひとつの形に上げていく仕事は、困難もありますがその分やりがいも感じられます。

必要な資格

技術士、RCCM、普通自動車運転免許など

私がしている仕事



インフラの設計

主に道路設計の仕事をしています。設計ソフトの使い方や、道路に関する専門知識など、まだまだ学ぶことがたくさんあります。



災害後の復旧設計

近年では豪雨による災害が多く発生しています。被害にあった道路や橋などのインフラを元通りにする災害復旧設計も行っています。



ドローンで現地調査

ドローンで現地を調査し、そのデータを設計に活用しています。災害現場など、特に作業員の立ち入りが困難な場での調査では、ドローンは大いに活躍します。

会社がしていること

道路、橋、河川、公園など「社会インフラ」といわれる土木設備の測量・調査・設計を行う建設コンサルタントです。「インフラのお医者さん」として、地域の発展を支えています。私たちが行った設計をもとに建設会社が工事をを行います。



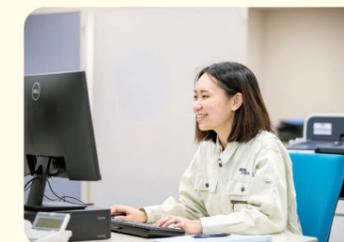
測量

ドローン、3Dレーザー、トータルステーションなどの測量機器を使って、地面の形、面積、高さ、長さなどの精密な地形データを取得します。その後、測定したデータをパソコンに入れて、専用ソフト上で設計のもとになる図面を作ります。また、土地の所有者を調べ、形や面積を測る「地籍調査」という大事な仕事も行っています。



調査

橋や建物の建設では、基礎になる地面が重要です。そこで工事現場で地面に孔を開け、地面の性質を調査します。地面の正確なデータから安全対策を立てます。



設計

測量・調査のデータをもとに、構造物の設計図をパソコンを使って作成します。将来にわたり安心・安全に使用できる施設を設計しています。



維持保全

構造物を長持ちさせるにはどうするべきかを考え、補修工事のための調査・点検、設計をします。完成後も安全を保つため、維持管理計画は欠かせません。

こんなこともしています

災害後の復旧設計

災害で崩壊した道路や河川などを元通りにするための測量・調査・設計も重要な仕事です。被災者のために速やかに行う必要があります。災害が再び起こらないためにもしっかりとした調査と設計が必要です。



西谷技術コンサルタント株式会社

職場体験

会社見学OK

鳥取県倉吉市八屋354-1
Tel.0858-26-2411
創業1958年3月1日 従業員数127名
事業所/支社(鳥取・米子・岡山)、営業所(島根・但馬・朝来・豊岡・三次)



詳しくは
コチラ